



## 『介護保険での訪問リハビリテーション』



### 訪問リハビリテーション(訪問リハビリ)とは?

まず初めに、「訪問リハビリ」という言葉は非常に混乱を招きやすい言葉です。一言に「訪問リハビリ」といっても、その種類は様々で制度上の違いも大変複雑だからです。

#### 【保険の種類】

訪問でのリハビリサービスには介護保険を利用するものと、医療保険を利用するものがあります。それぞれの保険でさらに種類が区別されますが、話が大変ややこしくなりますのでここでは触れません。

#### 【誰が訪問するのか】

理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)などのリハビリ専門職が訪問する場合と、マッサージ師、鍼灸師、柔道整復師などが訪問する場合があります。ここで重要なのは、訪問リハビリの目的です。それぞれの職種により専門技術や得意分野があるため、目的により利用するサービスを選択することが大切です。

### 訪問リハビリの内容は...?

担当ケアマネージャーが作成するプラン・計画に合わせ、ご利用者の生活上の支障を解消・軽減するための各種訓練、環境調整を行います。具体例を下記に挙げます。

筋力訓練、ストレッチ、関節可動域の維持・改善訓練、バランス練習、屋内歩行練習、屋外歩行練習、着替への練習、トイレ動作練習、入浴動作練習、調理訓練、洗濯・その他家事動作の練習、言語訓練、嚥下機能訓練、食形態の評価・家族指導、自主訓練指導、介助指導、家屋評価、福祉用具選定...

## 訪問リハビリテーション大瀬は...?

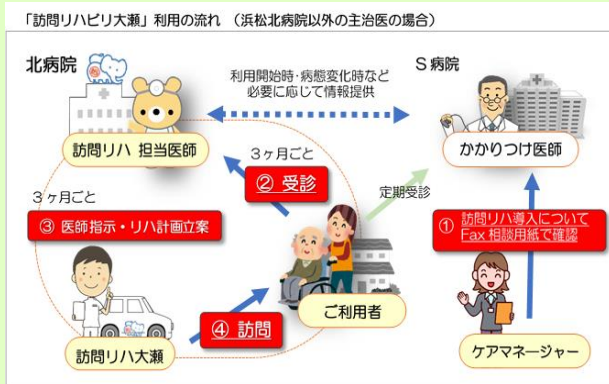
当法人の訪問リハビリテーション大瀬は、介護保険の指定事業所ですが、言い換えれば浜松北病院の訪問リハビリ部門と位置付けられます。専属の理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)がご自宅に訪問しリハビリを提供します。医療保険でのサービス提供はできません。

#### 【利用するにはどうすればよいのか?】

当法人の訪問リハビリをご利用いただくためには、介護保険制度上で定められる下記の条件を満たす必要があります。下記のすべての確認をご利用者・ご家族が直接行う必要はありません。まずは担当ケアマネージャーにご相談ください。

- ① 介護保険で「要支援・要介護」が認定されていること
- ② 担当ケアマネージャーが訪問リハビリの必要性を認めていること
- ③ 主治医(かかりつけ医)から訪問リハビリの実施について許可があること
- ④ ③の医師が浜松北病院以外の医師の場合、訪問リハビリ開始時とその後3ヶ月ごとに浜松北病院の訪問リハビリ担当医の受診※が必要です(下図参照)。

※ 訪問リハビリ担当医の診察日(令和1年8月時点)  
毎週 水曜日 10:00～、第1・3・5 金曜日 15:00～



訪問リハビリテーション大瀬  
作業療法士 前嶋 亮

## 『おでこに眼鏡』

仕事を終える頃には辺りは暗く。遠くの空では花火やら稲光で空は賑やか。稲光は大きな雲を映し出します。雲海の上で龍が閃光を放ちながら泳いでいる...そんな風にさえ感じます。幼い頃 あんなに怖かった雷も歳を重ねると幻想的に感じたりするようになってきました。昔と考え方が変わってきていますが、今も昔も変わらないのが日曜日に観ているサザエさん。波平さんが、額に眼鏡があるにも関わらず眼鏡を探している様子を、笑って見ていた子供の頃...。今の私は笑う側ではなく、笑われる側の気持ちに分かるようになってきてしまいました(奇しくも波平さんと同じ年齢)。物忘れも多くなり、同世代の友人と話す時も『あれだよ あれ...』が増えてきて周囲から失笑されるこの頃。経験ある方もおられるのでは?

ちょっとした物忘れなら笑って済みますが、リタイア後の生活に役立ちそうな閃きや、趣味に役立ちそうな情報等を忘れてしまうのはちょっと残念かも。病院のスタッフは、物忘れやミス防止対策の為に、手の甲にメモ書きしたりしていますが、将来の事まで書くとなるとあの「耳なし芳一」の様に体中使う事になりそうです。さすがにそれは無理...。なので私は、車に大学ノートを常備し、思いついた事を書き留めています。『育てたい作物・果実・庭木』『日曜大工〜リフォーム』等...。更には、『服の縫製』に至るまで色々書きなぐります。他所の庭がセンスよく感じればスケッチしたり、新築中の家があれば大工さん作業をメモしたり。なんとなく過ごしていた時間もすごく充実しますし、脳も活性化している感があります。多少仕事が忙しくても、やがて夢や趣味へとつながっていくと思えばストレスにも感じません。ページが厚くなれば楽しみも比例して増えていきます。やりたい事や楽しみが増えていけば、長生きしたいという欲につながり、体も慈しむ様になっていくのではないかな...と思います。

管理栄養士 青山



## 薬剤科

薬剤科は薬剤師5名、調剤助手2名で業務を行っています。  
当院は開院以来、外来患者様のお薬は院外処方ではなく院内の薬局でお渡ししています。

処方の変更などの時、医師との連絡が速やかにでき、また雨の日でも外に出ることなくお薬が受け取れます。調剤薬局の手数料分、院外処方より自己負担額が少なく済むのも院内薬局のメリットです。

近年、ジェネリック医薬品の採用を積極的に行っており患者様の負担の軽減に努めると共に、新薬を採用し最新の治療を提供しています。

### 『調剤業務』

医師や歯科医師の「処方せん」に基づいて患者様が薬を適切に使用できるように調合し、十分に説明をした上で、お渡しする仕事です。薬の量や使い方、飲み合わせや副作用などで処方内容に疑問があれば処方医に確認しています。

患者様が安心して治療を行えるよう薬の飲み方や使い方、注意事項などを説明し患者様の疑問にお答えしています。また、ご自宅に残っているお薬の数量調整のお手伝いもしています。

入院患者様の薬の管理の一環としては、薬を持参された場合全て鑑別をしています。これにより長期入院となった場合でも当院で同種同効薬を処方することが可能になります。また、持参薬を入院中も安全に服用していただくために持参薬の一包化も行っています。

### 『医薬品管理』

内服薬、注射薬、外用薬など病院で取り扱う約1300種類の医薬品の管理をしています。安全に医薬品が使われるよう最新の情報の収集、整理、管理を行い医療スタッフへ情報提供しています。また、外来や病棟へ配置している医薬品を含め、その品質を守るため在庫管理、適正な発注、供給を行っています。

薬剤科は病院の中で使われるすべての「薬」について安全で効果的に使用されるよう、さまざまな業務を行っています。今後も「薬」をとおして、患者様がより安心して医療を受けられるように責任を持って仕事をしてまいります。

薬についてご不明な点やご相談等がございましたら声をおかけください。



薬剤師 池谷

## 『秋祭り開催決まりました』



### 在宅介護支援グループ

会期 : 令和元年11月3日(日曜日)  
開催時間: 11時30分～15時00分  
会場 : おおせデイサービスセンター  
(浜松北病院 西館1階)

出店内容(予定): 焼き鳥・焼き芋・お菓子つかみ取り  
コロケ・豚汁・チョコバナナ  
フランクフルト・法多山だんご 他

余興(予定): マジックショー・和太鼓・阿波踊り 他

利用者の皆様の作品展示コーナーもあります  
今年の事業所対抗戦は…**素敵な店舗コンテスト!**  
皆様の熱いご声援をお待ちしています!!  
どなた様もご来場いただけます。お誘い合わせの上、  
お気軽にお越しください。

お問い合わせ先: 在宅介護支援グループ運営課  
TEL 053-401-0120 担当: 名倉



- ◇遠州鉄道  
積志駅下車  
徒歩15分
- ◇遠鉄バス  
JR浜松駅  
10番バスターミナル  
77 労災・東海染工  
イオン市野行き  
→浜松北病院下車

〒431-3113 静岡県浜松市東区大瀬町1568番地  
TEL (053)435-1111(代表)  
FAX (053)433-2700(代表)  
TEL (053)435-1522(地域医療支援課)  
FAX (0120)435-351(地域医療支援課)  
E-MAIL seisyukai@hamamatsu-kb.or.jp  
ホームページ http://www.hamamatsu-kb.or.jp

# 翔き

はばた

2019  
秋号  
No. 55



★当院は開院以来、外来患者様のお薬を院内薬局でお渡ししています。薬剤科職場紹介記事をご覧ください

医療法人社団 盛翔会  
**浜松北病院**

大瀬介護保険センター きたぞうウォーク  
訪問看護ステーション大瀬 訪問リハビリテーション大瀬  
おおせデイサービスセンター おおせ第二デイサービスセンター

基本理念  
思いやりを基本とした愛情ある医療と福祉を実現する。